

社会を生きる

科目ナンバリング EDU-107
選択必修 2単位

五十嵐 卓司

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では様々な社会問題に関心をもち、その問題の原因を資料やデータを基に考察していく。特に、学校教育と関係の深い経済・社会問題について中心的に扱っていく。社会問題をとらえるためには、正確な社会認識とその問題解決に向けた適切な取り組みが求められる。それらについて、資料やデータを基に考察を深めていく。

2. 授業の到達目標

様々な社会問題についての知識を深め、自分の考えを説明でき、他者と議論できる力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況と授業内レポート等(50%)、授業内試験の成績(オンライン・オンデマンド形式の授業形態の場合、レポート2つ)(50%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業で適宜伝える。

参考文献

小熊英二 「日本という国」 新潮社

荻谷剛彦 「学校って何だろうー教育の社会学入門」 ちくま文庫

荻谷剛彦 「知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ」 講談社+α文庫

5. 準備学修の内容

- 1) 学校教育を複眼的に考察するために、戦後の学校教育の歴史について調べておくこと。
- 2) 学校教育を複眼的に考察するために、中学・高校の授業内容を振り返り、経済や社会の仕組みについて考えてみること。

6. その他履修上の注意事項

- 1) 欠席しないことはもちろんのこと、積極的な授業参加を求める。
- 2) 第1回オリエンテーションは、必ず受講(LMSオンデマンド形式)すること。
- 3) 第2回～第14回の中の1回は、LMSオンデマンド形式の実施となります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(LMSオンデマンド形式)
- 【第2回】 社会とは?教育とは?学校とは?
- 【第3回】 日本の学校教育の歩み(1) 戦後の社会と学校教育
- 【第4回】 日本の学校教育の歩み(2) 高度経済成長期の学校教育の変貌
- 【第5回】 日本の学校教育の歩み(3) ゆとり教育・脱ゆとり教育と求められる学力の変化
- 【第6回】 日本の学校教育の歩み(3) グローバル化と学力の変化
- 【第7回】 社会問題を考える(1) 経済体制と学校教育
- 【第8回】 社会問題を考える(2) 経済体制を考察する アメリカを事例として
- 【第9回】 社会問題を考える(3) 経済体制を考察する 中国を事例として
- 【第10回】 社会問題を考える(4) 新自由主義と学校教育
- 【第11回】 社会問題を考える(5) 貧困問題と学校教育
- 【第12回】 社会問題を考える(6) 労働環境の変化と学校教育
- 【第13回】 社会問題を考える(7) グローバル化と学校教育
- 【第14回】 社会問題を考える(8) 経済体制と学校教育(LMSオンデマンド形式)
- 【第15回】 授業のまとめ・授業内テスト